

# 保健福祉事務所での「HIV（エイズ）検査」体制

（中讃保健所で即日検査をしています）

「HIV（エイズ）検査」は現在、各保健所において、**無料、匿名**で、行っています。

「HIV（エイズ）検査」を受けることにより、感染者自身の早期発見、早期治療に有効だけでなく、感染の拡大を防止することもできます。感染が心配な方は、早めに検査を受けることをお勧めします。

また、各保健所及び感染症対策課において、随時、相談を受け付けています。

## HIV（エイズ）検査日程表

検査は **予約制** ですので、あらかじめ検査を希望する保健所にお問い合わせ下さい。

保 健 所 名	検 査 日
小豆保健所 小豆郡土庄町湊崎甲2079-5 TEL:0879-62-1373	第3木曜日 10:00～11:00
東讃保健所 さぬき市津田町津田930番地2 （香川県大川合同庁舎内） TEL:0879-29-8261 または オンライン予約（東讃保健所ホームページ参照）	第2木曜日 9:00～11:00
中讃保健所 丸亀市土器町東8丁目526 TEL:0877-24-9962	（即日検査） 第2水曜日 8:40～10:10 第4水曜日 8:40～10:10 （※場合により通常検査も実施）
西讃保健所 観音寺市坂本町7丁目3番18号 TEL:0875-25-2052	第3月曜日 9:00～11:40 （※7月は第4月曜日、9月は第5月曜日）
高松市保健所 高松市桜町1丁目10番27号 TEL:087-839-2870	月1回 （※6、12月は月2回）

※検査日は事情により、変更する場合がありますので、予約時に確認してください。

※検査は、感染の機会があつてから、**3カ月以上**たつてから受けなければ、正しい結果は得られません。

## ■後天性免疫不全症候群（エイズ）とは？

### HIV＝エイズではありません

- HIVとはヒト免疫不全ウイルス（Human Immunodeficiency Virus）の頭文字を取ったもので、ウイルスの名前です。HIVは免疫のしくみの中心であるヘルパーTリンパ球（CD4細胞）という白血球などに感染します。そして、からだを病気から守っている免疫力を低下させていきます。
- 後天性免疫不全症候群（AIDS:エイズ）とはHIVに感染し、免疫システムが破壊されておこる病気の総称です。HIVに感染しても、すぐにエイズを発症するわけではなく、個人差がありますが、発症までに数年から10年程度かかると言われています。

## ■HIV抗体検査とは？

- 後天性免疫不全症候群（AIDS:エイズ）の原因になるHIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染しているかどうかを調べる検査です。HIVに対する抗体ができているかどうかを調べ、HIV感染を確認します。
- 5ml（小さじ一杯）ほどを採血し、血液検査を行います。
- HIVに感染している場合は、抗体ができてという意味で、「陽性（プラス）」という結果、感染していない場合は、抗体ができていないので、「陰性（マイナス）」という結果が出ます。
- 感染しても、すぐには抗体ができないため、検査を受けるタイミングは、**感染の可能性のある機会があつて3カ月以上**たってから検査を受けてください。そこで「陰性」と出た場合は、感染していないと考えられます。

### 通常検査

- 従来、保健所などで行われてきたHIV検査で、検査の結果（「陰性」「陽性」）は、一週間から10日後に出ます。結果は、直接本人にお知らせします。

### 即日（迅速）検査

- 全ての検査結果が、即日出るわけではありません。
- 即日検査では、「陰性」の場合のみ、同じ日に結果が出ます。
- HIVに感染していなくても、100人に1人は偽陽性（本来は陰性なのに陽性と判定されること）を示すことがあります。その場合は、確認検査が必要となり（要確認検査）、通常検査と同じように、結果が一週間から10日後に出ます。

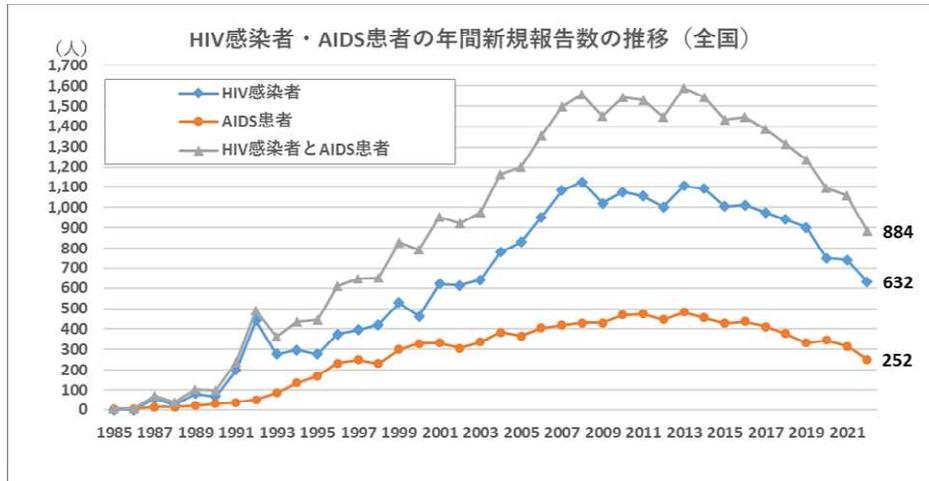
## ■その他

- クラジミア、梅毒、性器ヘルペス感染症などの性感染症にかかっていると、性器の粘膜が壊れてHIVに感染しやすくなります。
- HIV感染症/エイズの治療方法は大きく進歩し、エイズはもはや「死の病」ではなくなりました。現在はさまざまな治療薬があり、HIVに感染しても、早期に治療を開始し、継続することでエイズ発症を予防することが可能になっています。
- もし、感染がわかった場合、必要があれば治療を受けることができ、感染前と変わらない生活を送ることも可能です。早く感染が分かるとその後の体調管理もしやすくなります。

## ■HIV 感染者及びエイズ患者の状況

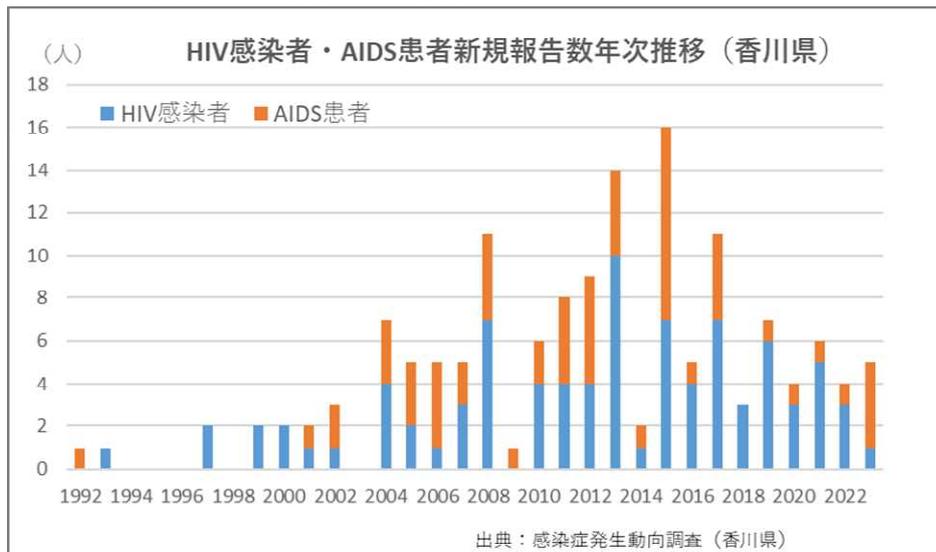
### (1) 全国の HIV 感染者及びエイズ患者の報告数

令和4（2022）年の年間新規報告数は、HIV 感染者 632 件、AIDS 患者 252 件、HIV 感染者と AIDS 患者を合わせて、884 件の報告があり、前年の 1,057 件から 173 件減少しました。HIV 感染者と AIDS 患者を合わせた新規報告数に占める AIDS 患者の割合は 28.5%でした。



### (2) 香川県の HIV 感染者及びエイズ患者の報告数（令和5年12月31日時点）

令和5(2023)年の新規報告数（速報値）は HIV 感染者 1 件、AIDS 患者 4 件でした。平成4(1992)年からの累計報告数は HIV 感染者が 88 件、AIDS 患者 59 件でした。



### (3) 香川県の年間 HIV 検査実施件数（令和5年12月31日時点）

年	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
検査件数	415	356	322	284	239	269	156	89	95	170

#### ※検査日を公表する理由

診断時に、すでにエイズを発症している事例もあり、早期発見のための検査の機会を逃していることが考えられます。検査日を公表することによって、県民にHIVやエイズに対し関心を持ってもらい、HIV検査の浸透・普及を図ることを目的としています。

